

学習内容報告書 フォーマット

学校名	益田市立豊川小学校
授業者	寺戸幸代

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「アクアス」のことをおもいだしてかこう

1-2. 学年

1年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

国語 生活科

1-4. 単元の概要

①水族館の見学を通して海について関心を持つ。
②水族館で体験したことを作文にまとめる。
③校内に掲示し、他の学年に発信し、海についての関心、理解を深める。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

（ねらい）
・水族館での体験を通して海についての関心を高める。
・水族館で体験したことを順序に沿って簡単な構成を考え、語と語や文と文の続き方に注意しながら書くことができる。
（設定の理由）
本単元では、生活の中で印象に残っている出来事を、友だちや教師に伝える文を書く活動を行う。水族館での体験を作文にして相手に伝えることで、海への関心をさらに深めることができると考えたからである。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

・海の生き物について振り返ることで、海についての関心を高める。
・自分の思いや見たこと、経験したことが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて文章を書く力を高める。

1-7. 単元の展開（全 12 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 6	○水族館で海の生き物について知ろう ・水族館の見学や海の生き物について話を聞く。 ・海の生き物に触れてみよう。	・水族館のスタッフからの説明
7	○学習の見通しを持つ。 ・モデル文を読んで、学習課題をつかむ。	・モデルとしての教師の作文 ・水族館に行った時のことを思い出して作文を書くことを伝える。
8	○順序よくつながりのある文章を書くために大切なことを理解する。 ・「はじめに」「それから」「つぎに」の札を使って時間の順番を表すことができることを学ぶ。	・教科書の作文を、「したこと」「周りに様子」「思ったこと」の短冊を用意したり、色を変えたりして順番がわかりやすく提示する。 ★順序がわかりやすい作文を書くために大事なことがわかる。（発言・ノート）
9 ・ 10 本 時	○短冊に書きたいことをメモし、短冊を並び替えながら書く順番を決める。 ・書きたい出来事（本単元では、遠足でのこと）を決め、したことや周りの様子などを詳しく（水族館で見た生き物の様子）思い出して短冊に書き、短冊を入れ替えてながら書く順番を決める。	・水族館での見学の様子や生き物の写真を提示し遠足について思い出しやすくする。 ・順序を示す「はじめに」「それから」「つぎに」の言葉を提示したり、順序を入れ替えても張りなおせるシートを用意したりしておく。 ・出来上がった作文は、声に出して読み返させ、自分で誤字脱字等に気づかせる。 ★伝えたいことを決めて、順序を考えて短冊を操作している。（短冊・発言）
11	○順序に気をつけて文章を書く。 ・短冊メモを基に、順序に気をつけながら作文を書く。	・短冊は常態で書いたが、作文には敬体で書くことを伝える。 ・短冊のメモを作文にすることが難しい児童には、個別に支援する。 ★順序よくつながりのある文章を書くことができる。（作文・発言）
12	○互いに文章を読み合い、感想を交流したり、掲示用に作り変えたりする。 ・互いに作文を読み合い、感想を伝え合ったりいいところを伝えたりする。 ・色画用紙に作文を張り、絵も添えて廊下の掲示板に掲示し発信する。	・「順序を表す言葉を使っているか」「生き物の様子が詳しく書かれているか」など、友だちの作文を読む時に、観点を示す。 ★作文を読んで、友だちの良さを見つけることができる。（発言） ★海への関心や理解を深めることができている。（感想・ノート）

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

順序がわかりやすい文章にするために、短冊を操作して書く順番を考えることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○前時を振り返り、本時のめあてをつかむ。 <input type="text" value="詳しく思い出して短冊に書き、書く順番を決める。"/></p> <p>○前時に書いた短冊の中から、文章に書いて伝えたいことを3つ選ぶ。 <input type="text" value="短冊メモから、伝えたいことを3つ選ぶ。"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの生き物のことを書こうかな。 ・1番すごかったのは、白イルカだなあ。 <p>○選んだことについて、詳しく思い出し、短冊に書き加える。 <input type="text" value="もっと詳しく思い出して書こう。"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペンギンは、どんな泳ぎ方だったかな。 ・イルカの大きさは、どのくらいだったかな。 <p>○書き出した短冊を時間の流れを考えながら並び替える。 <input type="text" value="書く順序を決めよう。"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この中では、どれをはじめに見たかな。 <p>○本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・短冊を読み、順に並べられているか確かめる。 </p>	<p>○自分が書いた短冊の中から、特に心に残っているものを3つ選ぶように伝える。</p> <p>○選んだ短冊について、その時の様子や動き、話をしたことなどを思い出して、さらに詳しく短冊に書き加えるように伝える。</p> <p>○詳しく書きにくい児童には、教師が質問したり写真を見せたりして、その時の様子を思い出しやすくなるように支援する。</p> <p>○書き足した短冊を、時間の流れに沿って並び替えるように伝える。その時に、さらに思い出したことも書いてよいことも伝える。</p> <p>★時間の流れに沿って順番を決めることができる。 （短冊）</p> <p>○水族館で体験したことを、順にまとめることで、海への関心や理解を深める。</p>

3. 今回の活動の自己評価

海への関心を高めるために水族館で体験学習を行った。さらに、海への関心や理解をもっと深めたいと考え、国語科の作文の題材として水族館の体験をとりあげることで、海への理解が得られると考え授業を展開した。

子ども達は、水族館で体験したことを想起しながら短冊に記入していったが、なかなか思い出せない子もいた。見学する際に、簡単なメモをとらせるなどの工夫が必要だった。

写真等を見せながら短冊から作文にまとめていく活動や友達の作文に興味深く聞くことを通して、改めて、海への関心が高まったように感じている。

4. 今後の課題

○事前学習

水族館の生き物について、もっと知識があれば当日の行動や感じ方も違っていたのではないかと思う。

○事後の活動

壁新聞のような形でまとめをしたが、生活科とももっと絡めて調べ学習などに結び付けると、より深い学びへとつながるであろう。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。